

4. 総会等報告

(1) 2018年度地域安全学会総会 報告

1) . 2017年度事業報告

①理事会の開催

2017年度は理事会を下記のとおり開催した。

- 第1回 2017年 6月9日 (金) 石垣市 (石垣商工会館・商工会ホール)
- 第2回 2017年 7月15日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第3回 2017年 9月9日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第4回 2017年 11月10日 (金) 静岡 (静岡地震防災センター)
- 第5回 2018年 1月20日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)
- 第6回 2018年 3月24日 (土) 東京 (同志社大学東京オフィス)

②総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催した。

日時：2017年6月9日 (金) ～10日 (土)

i .6月9日 (金)

- (a)一般論文発表： 13:30-16:30、59編
- (b)一般論文発表(文部科学省リスクコミュニケーションセッション) 16:40-17:53、上記59編のうち7編
- (c)2017年度地域安全学会総会 16:45～18:15
- (d)表彰式 (年間優秀論文賞, 論文奨励賞, 優秀発表賞)
- (e)会場：石垣商工会館・商工会ホール (〒907-0013 沖縄県石垣市浜崎町1-1-4)
石垣市IT事業支援センター研修室 (石垣市新栄町6-18)
石垣市立図書館 (石垣市浜崎町1-1)

ii .6月10日 (土)

- (a)公開シンポジウム：9:30～11:30
「低頻度巨大災害への備えとリスクコミュニケーション」
会場：石垣市民会館 中ホール (石垣市浜崎町1丁目1-2)
司会・進行：越村 俊一 (東北大学災害科学国際研究所・教授)
(i)石垣市教育委員会 島袋 綾野 氏
八重山明和津波について
(ii)東北大学災害科学国際研究所 准教授 後藤 和久 氏
琉球列島における低頻度巨大地震・津波のリスク
(iii)石垣市防災危機管理室 室長 大濱 武 氏
石垣市の防災対策の取り組み
(iv)ディスカッション
- (b)現地見学会「八重山大津波の歴史をめぐる」： 12:00～18:00

③東日本大震災連続ワークショップ2017 in 釜石

下記の企画を実施した。

日時：2017年8月5日 (土) ～6日 (日)

場所：釜石情報交流センター (釜石市大町一丁目1番地10号)

- ①東日本大震災ワークショップ：17件
- ②釜石市内復興事業区画を見学

④秋季研究発表会の開催

秋季研究発表会を下記のとおり開催した。

日時：2017年11月10日 (金) ～11日 (土)

場所：静岡県地震防災センター

①査読論文発表：37件，一般論文ポスター発表：56件

②文部科学省リスクコミュニケーション事業特別セッション（上記の査読論文37編のうち、9編）

⑤地域安全学会論文集・梗概集の刊行

i. 春季研究発表会において「地域安全学会梗概集№40」を刊行した。

ii. 秋季研究発表会において「地域安全学会論文集№30（電子ジャーナル論文）、№31（研究発表会論文）」を刊行した。

iii. 秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集№41」を刊行した。

iv. 地域安全学会論文集№32（電子ジャーナル論文）をホームページ上に公開した。

⑥地域安全学会論文賞・論文奨励賞・年間優秀論文賞の選出

i. 査読論文（電子ジャーナル）№30(2017.3)、および査読論文（研究発表会）No.31(2017.11)に掲載された合計55編の論文を対象として、2017年地域安全学会論文賞の審査を行った。審査会における審議の結果、審査会における審議の結果、該当者なしとなった。

ii. 上記55編の論文を対象に論文奨励賞の審査を行い、以下の3編の論文の筆頭著者を選出した。

(a) 「VR（仮想現実）を用いた地震火災時の市街地延焼からの避難行動特性」

小林 大吉（東京消防庁四谷消防署）

(b) 「犯罪多発地点の予測に基づく防犯パトロール経路に関する提案」

野 貴泰（警察庁）

(c) 「退職自衛官の自治体防災関係部局への在職状況と課題 本人および自治体防災関係部局への郵送質問紙調査の分析を通して」

中林 啓修（ひょうご震災記念21世紀研究機構 人と防災未来センター）

iii. 上記55編の論文を対象に年間優秀論文賞の審査を行い、以下の1編の論文の筆頭著者を選出した。

・「数値標高モデルによる経験的な土石流氾濫域の予測手法の都市域に対する適用性の検討」（地域安全学会論文集No.31）

三浦 弘之（広島大学）

⑦地域安全学会「技術賞」の選出

11回目を迎えた地域安全学会技術賞の募集に対し、1件の応募登録があり、審査委員8人による厳正な審査の結果、今回の技術賞は、該当なしという結果となった。

⑧地域安全学会「優秀発表賞」の選出

第40回（2017年度）地域安全学会研究発表会（春季）において、59編の口頭発表が行われ、また、第41回（2017年度）地域安全学会研究発表会（秋季）においては、56編の口頭発表が行われた。審査の結果、以下の発表を行った6名を授賞対象者として選出した。

【春季】

(a) 「地震発生確率とリスク認知ー地震動予測地図の認識に関する基礎的研究ー」

齋藤さやか（東京大学大学院情報学環総合防災情報研究センター）

(b) 「洪水ハザードマップを活用した確率論的リスク評価手法の開発」

中西 翔（㈱インターリスク総研）

(c) 「神戸市における地域力活性化と安全・安心」

松川杏寧（人と防災未来センター）

【秋季】

(a) 「混住地域における放射線災害からの地域環境創生に関する論点整理ー福島県三春町を事例としてー」

辻岳史氏（国立研究開発法人国立環境研究所福島支部）

(b) 「個別要素法を用いた建物崩壊過程における人的被害発生機構推定ー長野県神城断層地震被害例への適用及び比較ー」

松本将武氏（北海道大学大学院工学院）

(c)「2016年11月22日福島県沖地震津波発生時の宮城県亘理町における避難行動の実態－東日本大震災の経験や津波避難訓練との関係－」

戸川直希氏（東北大学大学院工学研究科土木工学専攻）

⑨ニュースレター発行とホームページ管理

2017年度はニュースレター№99－№102の計4号を発行し、学会ホームページ上に掲載した。今後、学会の広報活動の柱としてホームページを位置づけ、引き続き内容の充実を図っていくこととした。

⑩会員メーリングリストによる情報提供

会員への迅速な情報発信を目指して、メールによる情報配信を行った。個人情報保護を考慮しつつ、効率的な会員サービスと会員管理を進めた。

⑪企画研究小委員会研究活動

企画研究小委員会において3テーマについて研究活動を実施した。

⑫東日本大震災関連活動

- i. 岩手県釜石市において「東日本大震災連続ワークショップ2017 in 釜石」を開催した。
- ii. 東日本大震災特別委員会ワークショップにおいて「地域安全学会東日本大震災特別論文集 No.6」を刊行した。

⑬国際学術交流

2017年11月25～27日に仙台市で開催される世界防災フォーラムにおいて、第4回アジア防災会議を開催した。発表論文数は、35編であった。

⑭シンポジウム等の共催・参加

以下の催事に、地域安全学会として共催した。

- ・第22回「震災対策技術展」横浜
- ・安全工学シンポジウム2017（日本学術会議）
- ・第15回日本地震工学シンポジウム（日本地震工学会）（2018年度実施：共催承認のみ）

⑮文部科学省リスクコミュニケーションのモデル形成事業の実施

- i. 2016年度から、文部科学省の補助金によるリスクコミュニケーションのモデル形成事業として「行政・住民・専門家の協働による災害リスク等の低減を目的とした双方向リスクコミュニケーションのモデル形成事業」を実施し、14の大学・研究機関の研究者により、行政・住民・専門家といった多様なステークホルダーが参画したマルチハザード（防犯も含む）対応の地区防災計画づくり等支援をワークショップ形式で進めるほか、行政の委員会等への参加や行政を対象とした講演、行政と連携した住民・事業者等への講演を通じて、地域社会の災害リスク等の低減に資するリスクコミュニケーションを実践した。
- ii. 2017年度地域安全学会春季研究発表会特別セッション（2017年6月9日：沖縄県石垣市商工会館・商工会ホール）
- iii. 地域安全学 夏の学校2017－基礎から学ぶ防災・減災－（2017年8月7日：同志社大学東京オフィス）
- iv. 2017年度地域安全学会秋季研究発表会特別セッション（2017年11月10日：静岡県地震防災センター）

⑯会員数および年会費納入（2018年3月末）

	会員数	2017年度 会費納入状況
賛助会員	2	2
正会員	531	511
学生会員	84	62

2) . 2017年度決算

決算に関して、宮野監事、重川監事による監査を受けた。指摘された修正を取り入れた以下の決算報告に対して承認をいただいた。

【貸借対照表】

(単位：円)

資産の部		負債及び正味財産の部	
科目	金額	科目	金額
現金	102,657	未払金	2,609,605
普通預金	6,142,896	預り金	7,654
(うち、国際交流事業用資金)	187,976	前受金	31,000
【口座別内訳】 ゆうちょ銀行	131,153	仮受金	0
振替預金	94,189	未払法人税等	76,100
春季研究発表	1,025,224		
秋季研究発表	868,712		
りそな査読論文	1,095,044		
りそなワークショップ	840,065		
りそなリスコム事業	2,088,509		
前払費用	48,760		
商品	2,298,552		
未収会費	361,000		
未収入金	0		
ソフトウェア	0		
		負債合計	2,724,359
		その他一般正味財産	6,229,506
		正味財産合計	6,229,506
資産合計	8,953,865	負債・正味財産合計	8,953,865

【損益計算書】

(単位：円)

科 目	金 額
【Ⅰ 収入】	
1 会費収入	4,345,000
2 寄付金収入	0
3 受取助成金	10,000,000
4 事業収入	
ア 梗概集掲載料	1,215,000
イ 梗概集販売料	263,558
ウ 論文集掲載料	1,410,000
エ 論文集査読料	670,000
オ 論文集販売料	233,605
カ DVD販売料	45,360
5 雑収入	
ア 懇親会費	1,057,500
イ 視察費	391,500
ウ その他	29,000
6 受取利息	86
収入合計	19,660,609
【Ⅱ 支出】	
1 人件費	806,080
2 通信・広報費	279,554
3 印刷・編集費	1,869,737
(印刷編集費棚卸対応分)	10,899
4 会議費	914,000
5 旅費交通費	6,087,524
6 交際費	969,374
7 委託費	2,121,991
8 消耗品費	2,462,280
9 事務用品費	8,847
10 減価償却費	71,148
11 支払手数料	263,732
12 謝金	130,000
13 補助金	30,000
14 事務局費	2,328,000
15 租税公課	42,219
16 運営費	1,091,173
17 雑費等	3,846,515
支出合計	23,333,073
税引前当期利益	-3,672,464
法人税等	76,100
当期利益	-3,748,564
前期繰越利益金額	9,978,070
次期繰越利益金額	6,229,506

2017年度地域安全学会収支計算書

(2017年4月1日～2018年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
1.会費収入	3,704,600	4,151,000	▲ 446,400	正会員:7,000円×541名 (うち7名、過年度分) 正会員:5,000円×6名 (過年度分) 学生会員:2,000円×67名 賛助会員:100,000円×2社
2.寄付金収入	0		0	
3.受取助成金等	10,000,000	10,000,000	0	リスクコミュニケーション特別企画研究 (29年度分)
4.春季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	500,000	465,000	35,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ)
イ 梗概集販売料	190,000	75,814	114,186	1冊:4,000円×16部+CD1,000×10枚+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	455,000	481,000	▲ 26,000	懇親会参加費：6,500円×74名
イ 視察費	315,000	288,000	27,000	見学会参加費：4,500円×64名
ウ その他	0	3,000	▲ 3,000	見学会弁当代：1,500円×2名
小 計	1,460,000	1,312,814	147,186	
5.秋季研究発表会				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	400,000	560,000	▲ 160,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×40名
イ 梗概集販売料	160,000	142,664	17,336	1冊:4,000円×34部 CD 9枚+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	375,000	447,500	▲ 72,500	懇親会参加費：7,500円×49名、2,500円×32名
イ 視察費	0	0	0	
ウ その他	0	0	0	
小 計	935,000	1,150,164	▲ 215,164	
6.東日本大震災連続ワークショップ				
1)事業収益				
ア 梗概集登載料	280,000	190,000	90,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×28名
イ 梗概集販売料	60,000	45,080	14,920	1冊：2,000円×22部+送料
2)雑収入				
ア 懇親会費	195,000	129,000	66,000	懇親会参加費：6,000円×20名、3,000円×3名
イ 視察費	90,000	103,500	▲ 13,500	見学会参加費：4,500円×23名
ウ その他	0	24,000	▲ 24,000	送迎バス代：2,000×12名
小 計	625,000	491,580	133,420	
7.学術				
1)事業収益				
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,410,000	90,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ) ×60名
エ 論文集査読料	700,000	670,000	30,000	査読料：1編10,000円×67名
オ 論文集販売料	188,000	233,605	▲ 45,605	1冊：4,000円×58部+送料
カ DVD販売料	20,000	45,360	▲ 25,360	1枚：15,000×1枚+30,000×1枚+送料
小 計	2,408,000	2,358,965	49,035	
8.受取利息	1,000	86	914	
9.その他	0	0	0	
収入合計	19,133,600	19,464,609	▲ 331,009	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	比較①-②	備 考
1.事務局・総務				
2) 通信費・広報費	80,000	156,924	▲ 76,924	切手、送料、電話代、宅急便等
3) 印刷編集費	10,000	29,700	▲ 19,700	コピー代、封筒印刷代
4) 会議費	10,000	0	10,000	監査会場代
5) 旅費交通費	250,000	302,218	▲ 52,218	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	20,000	0	20,000	
7) 委託費	324,000	324,000	0	委託費月27,000円 H29年4月～H30年3月
8) 消耗品費	20,000	21,282	▲ 1,282	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	8,847	1,153	事務用文具等
11) 支払手数料	75,000	186,408	▲ 111,408	銀行振込手数料、役員登記手数料
14) 事務局費	2,328,000	2,328,000	0	委託費@194,000 H29年4月～平成30年3月
15) 租税公課	30,000	42,219	▲ 12,219	源泉所得税、登録免許税、収入印紙代等
16) 運営費	30,000	30,220	▲ 220	メダル作成費
17) 雑費等	0	0	0	
小 計	3,187,000	3,429,818	▲ 242,818	
2.広報				
7) 委託費	30,000	23,760	6,240	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	216	784	銀行振込手数料
小 計	31,000	23,976	7,024	
3.総会・理事会				
1) 人件費				
ア アルバイト給料	0	0	0	
2) 通信費・広報費	80,000	56,278	23,722	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	60,000	79,067	▲ 19,067	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷
4) 会議費	160,000	210,000	▲ 50,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	500,000	523,990	▲ 23,990	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	5,616	▲ 616	銀行振込手数料
小 計	805,000	874,951	▲ 69,951	
4.学術				
1) 人件費（アルバイト給料）	30,000	408,500	▲ 378,500	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	50,000	19,677	30,323	論文送送料
3) 印刷編集費	810,000	854,280	▲ 44,280	論文集No.30.31 220部印刷料、コピー代
4) 会議費	80,000	117,500	▲ 37,500	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	350,000	407,853	▲ 57,853	学術委員会参加交通費
7) 委託費	511,920	511,920	0	研究発表会論文システム運営費 =研：312,120+電：199,800
8) 消耗品費	5,000	0	5,000	消耗品、10万円以下の備品
11) 支払手数料	5,000	7,776	▲ 2,776	銀行振込手数料
16) 運営費	0	0	0	
小 計	1,841,920	2,327,506	▲ 485,586	
5.国際交流				
11) 支払手数料	10,000	432	9,568	
13) 補助等	0	0	0	
16) 運営費	100,000	65,032	34,968	アカウント代、証書ファイル、お礼の品、交通費等
小 計	110,000	65,464	44,536	

科目	①予算	②決算	比較 ①-②	備 考
6.春季研究発表会				
1) 人件費 (アルバイト給料)	10,000	0	10,000	
2) 通信費・広報費	4,000	9,204	▲ 5,204	梗概集運送料
3) 印刷編集費	190,000	183,708	6,292	梗概集No.40 80部 CD 50枚
4) 会議費	0	0	0	
5) 旅費交通費	550,000	369,150	180,850	現地見学会バス、授賞者旅費
6) 交際費	455,000	455,652	▲ 652	懇親会費用
8) 消耗品費	5,000	0	5,000	賞状用紙他
9) 事務用品費	5,000	0	5,000	文房具代
11) 支払手数料	5,000	3,456	1,544	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	30,000	0	講師、パフォーマー謝礼
16) 運営費	100,000	190,080	▲ 90,080	現地見学会費用 (昼食代含む)
小 計	1,354,000	1,241,250	112,750	
7.秋季研究発表会				
1) 人件費 (アルバイト給料)	40,000	29,520	10,480	
2) 通信費・広報費	5,000	5,059	▲ 59	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	130,000	190,512	▲ 60,512	梗概集No.41 100部
4) 会議費	0	0	0	
5) 旅費交通費	50,000	3,720	46,280	アルバイト交通費
6) 交際費	375,000	366,660	8,340	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	5,000	2,434	2,566	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	0	
11) 支払手数料	5,000	864	4,136	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	30,000	0	パフォーマー謝金
16) 運営費	260,000	423,112	▲ 163,112	昼食、飲み物代、パネル設置代
小 計	900,000	1,051,881	▲ 151,881	
8.東日本大震災連続ワークショップ				
1) 人件費 (アルバイト給料)	20,000	0	20,000	
2) 通信費・広報費	5,000	4,304	696	論文集送料、宅急便代
3) 印刷編集費	200,000	138,348	61,652	特別論文集No.6(CD付) 80部
5) 旅費交通費	100,000	133,668	▲ 33,668	現地見学会等バス代
6) 交際費	195,000	137,430	57,570	懇親会
11) 支払手数料	5,000	864	4,136	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	40,000	▲ 10,000	講師謝礼
16) 運営費	100,000	126,400	▲ 26,400	見学会、昼食代等
小 計	655,000	581,014	73,986	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会				
16) 運営費	10,000,000	13,123,991	▲ 3,123,991	会場料、振込手数料
小 計	10,000,000	13,123,991	▲ 3,123,991	
10.その他事業				
5) 旅費交通費	200,000	136,080	63,920	研究小委員会 (2つ) の旅費交通費
7) 委託費	0	23,760	▲ 23,760	30周年記念シンポジウム テープ起こし代
11) 支払手数料	5,000	2,160	2,840	銀行振込手数料
13) 補助等	30,000	30,000	0	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	100,000	74,175	25,825	安全・安心若手研究会の運営費：予算100,000円
小 計	335,000	266,175	68,825	
支出合計	19,218,920	22,986,026	▲ 3,767,106	

収入-支出	-3,521,417
-------	------------

なお、科目間の流用を認めます。

2018年5月12日
上記の通り収支決算を報告いたします。

地域安全学会

監事 重川 希志依

監事 宮野 道雄



3) . 会員の除名について

地域安全学会定款第10条により、過去2年度分（2016（H28）年度、2017（H29）年度）の会費を滞納している正会員（4名）及び学生会員（4名）の除名について審議を行う。

(退 会)

第 10 条 正会員、学生会員、名誉会員又は賛助会員は、次に掲げるいずれかの事由によって退会する。

- 1.各会員本人の申し出。ただし、退会の申し出は、当法人所定の退会届により 1 か月前にするものとするが、やむを得ない事由があるときは、いつでも退会することができる。
- 2.死亡又は解散
- 3.総会員の同意
- 4.除名

②正会員、学生会員、名誉会員又は賛助会員の除名は、次に掲げるいずれかの事由により、総会の決議によってすることができる。

- 1.会費を2年以上滞納したとき
- 2.当法人の名誉を傷つけ又は当法人の目的に反する行為があったとき
- 3.その他正当な事由があるとき

除名の対象となる正会員及び学生会員を下記に示す。

■ 正会員(4名)

会員番号	氏名
1469	太田 宏
1688	一ノ瀬 文明
1751	中井 美香
1763	川島 勇我

■ 学生会員(4名)

会員番号	氏名
1516	岡村 健太郎
1764	小川 憲斗
1794	廣瀬 匠
1798	森川 健太

4) . 2017年度役員改選について

昨年度の臨時総会で承認いただいたように、理事、監事は2017～2018年度の2年の任期となるので、2017年度は役員改選を行わなかった。

5) . 2018年度事業計画

①理事会の開催

2017年度は理事会を下記のとおり開催する。

- 第1回 2018年5月25日（土） 北海道奥尻町（奥尻町海洋研修センター）
- 第2回 2018年7月7日（土） 東京（同志社大学東京オフィス）
- 第3回 2018年9月2日（日） 東京（東工大キャンパスイノベーションセンター）
- 第4回 2018年11月2日（土） 静岡（静岡地震防災センター）
- 第5回 2019年1月12日（土） 東京（同志社大学東京オフィス）
- 第6回 2019年3月23日（土） 東京（同志社大学東京オフィス）

②総会・春季研究発表会・公開シンポジウムの開催

総会・春季研究発表会・公開シンポジウムを下記のとおり開催する。

- 日時：2018年5月25日（金）～26日（土）
- 場所：北海道奥尻町（奥尻町海洋研修センター）
（北海道奥尻郡奥尻町奥尻314）

③東日本大震災連続ワークショップ2018 in 南三陸 の開催

- 日時：2018年7月29日（日）～30日（月）
- 場所：南三陸町役場本庁舎（宮城県本吉郡南三陸町志津川字沼田101番地）
 - ・市の関係者による復興状況の講演、研究発表会
 - ・現地見学会、ディスカッション

④秋季研究発表会の開催

- 秋季研究発表会を下記のとおり開催する
- 日時：2018年11月2日（金）～3日（土）
- 場所：静岡県地震防災センター

⑤地域安全学会論文集・梗概集の刊行

- i. 春季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.42」、秋季研究発表会において「地域安全学会梗概集 No.43」を刊行し、優秀発表賞を選出する。
- ii. 地域安全学会論文集の論文募集は年2回とし、今年度は地域安全学会論文集 No.33、同 No.34（電子ジャーナル論文）の論文を募集する。
- iii. 秋季研究発表会において「地域安全学会論文集 No.32、No.33」を刊行し、地域安全学会論文奨励賞を選出する。
- iv. 地域安全学会論文集 No.34（電子ジャーナル論文）をホームページ上で公開する。
- v. 地域安全学会論文集（No.32、No.33）を対象に地域安全学会論文賞および年間優秀論文賞を選出する。

⑥広報活動の強化と会員管理

サービスの向上を目指して、会員へのメールによる各種情報配信、ホームページによる情報提供、印刷物による情報発信について、各々の機能分化した情報提供を実施する。

⑦地域安全学会技術賞の選出

表彰委員会において第12回地域安全学会技術賞の選考を行う。

⑧企画研究小委員会活動

企画研究小委員会において2テーマについて研究活動を実施する。

⑨国際学術交流

- ・2019年度に開催予定の第4回世界防災会議（ICUDR）に向けて、準備を進める。
- ・防災関連の政府関係会議の進展状況をみながら、学会としての対応について検討する。

⑩役員選挙

定款の規定に則り、2018年度に新役員の選挙を実施する。

⑪東日本大震災に関する支援・研究活動の推進

東日本大震災特別委員会による被災地支援・研究活動の実施、東日本大震災学協会連絡協議会への参画を行う。

⑫防災学協会連合組織への参加

「防災学協会連携体」が主催、連携するシンポジウム等に参加し報告を行う。

⑬文部科学省リスクコミュニケーションのモデル事業の継続実施

科学技術人材育成費補助事業「リスクコミュニケーションのモデル形成事業（学協会型）を継続実施し、自然災害分野におけるリスクコミュニケーションの諸課題の実践的な研究を学会として先導する。このため、次の企画において本事業の成果の発表、意見交換等を行う

- ・地域安全学 夏の学校2018 –基礎から学ぶ防災・減災–（2018年8月6日：人と防災未来センター東館4階大教室）
- ・2018年度地域安全学会(秋季)研究発表会特別セッション（2018年11月2日：静岡県地震防災センター）
- ・2018年度地域安全学会秋季ポスターセッションでのリスコミコーナー（2018年11月3日：静岡県地震防災センター）
- ・第15回日本地震工学シンポジウムでのオーガナイズドセッションの開催（2018年12月6～8日：仙台国際センター）
「地震災害リスクコミュニケーションのモデル形成の現在：3年間の取り組みをふりかえる」
- ・本事業の成果発表会の開催（時期・場所未定）

6). 2018年度予算

2018年度地域安全学会予算

(2018年4月1日～2019年3月31日)

収入の部

(単位：円)

科 目	2018年予算	2017年決算	備 考
1.会費収入	4,121,000	4,151,000	正会員:7,000円×541名 学生会員:2,000円×67名 賛助会員100,000円×2社
2.寄付金収入	0		
3.受取助成金等	10,000,000	10,000,000	リスクコミュニケーション特別企画研究 (30年度分)
4.春季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	500,000	465,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×50名
イ 梗概集販売料	90,000	75,814	1冊:4,000円×20部 CD1枚1,000円×10枚
2)雑収入			
ア 懇親会費	481,000	481,000	懇親会参加費:6,500円×74名
イ 視察費	315,000	288,000	見学会参加費:4,500円×70名
ウ その他	0	3,000	
小 計	1,386,000	1,312,814	
5.秋季研究発表会			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	560,000	560,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×56名
イ 梗概集販売料	160,000	142,664	1冊:4,000円×40部
2)雑収入			
ア 懇親会費	450,000	447,500	懇親会参加費:7,500円×50名、2,500円×30名
イ 視察費	0	0	
ウ その他	0	0	
小 計	1,170,000	1,150,164	
6.東日本大震災連続ワークショップ			
1)事業収益			
ア 梗概集登載料	190,000	190,000	登載料 (ページ数対応5,000円/2ページ) ×19名
イ 梗概集販売料	50,000	45,080	1冊:2,000円×25部
2)雑収入			
ア 懇親会費	75,000	129,000	懇親会参加費:3,000円×25名
イ 視察費	100,000	103,500	見学会参加費:4,000円×25名
ウ その他	0	24,000	
小 計	415,000	491,580	
7.学術			
1)事業収益			
ウ 論文集登載料	1,500,000	1,410,000	登載料 (2万円+5,000円/2ページ) ×60名
エ 論文集査読料	700,000	670,000	査読料:1編10,000円×70名
オ 論文集販売料	200,000	233,605	1冊:4,000円×50部
カ DVD販売料	40,000	45,360	1枚:2万円 (会員価格) ×2枚
2)雑収入			
ア その他	150,000	0	オンライン投稿査読システム利用料 5,000円×30編 日本災害情報学会 日本災害復興学会より
小 計	2,590,000	2,358,965	
8.受取利息	1,000	86	
9.その他	0	0	
収入合計	19,683,000	19,464,609	

支出の部

(単位：円)

科目	①予算	②決算	備 考
1.事務局・総務			
2) 通信費・広報費	150,000	156,924	切手、送料、電話代等
3) 印刷編集費	10,000	29,700	コピー代、封筒印刷代
5) 旅費交通費	300,000	302,218	監査の為の交通費、大会等事務局交通費、宿泊費
6) 交際費	5,000	0	
7) 委託費	324,000	324,000	委託費月27,000円 H30年4月～H31年3月
8) 消耗品費	20,000	21,282	消耗品、10万円以下の備品
9) 事務用品費	10,000	8,847	事務用文具等
11) 支払手数料	75,000	186,408	銀行振込手数料、役員登記手数料
12) 謝金	0	0	
14) 事務局費	2,328,000	2,328,000	委託費月194,000円 H30年4月～H31年3月
15) 租税公課	30,000	42,219	源泉所得税、利子税、登録免許税、収入印紙代等
16) 運営費	30,000	30,220	メダル作成費
17) 雑費等	0	0	
99) 予備費	0	0	
小 計	3,282,000	3,429,818	
2.広報			
7) 委託費	25,000	23,760	HP情報更新料・サーバ利用料
11) 支払手数料	1,000	216	銀行振込手数料
小 計	26,000	23,976	
3.総会・理事会			
1) 人件費			
ア アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	60,000	56,278	総会の案内資料印刷・発送代
3) 印刷編集費	70,000	79,067	案内送付用封筒・ハガキ・案内資料印刷
4) 会議費	200,000	210,000	理事会 会場費
5) 旅費交通費	520,000	523,990	理事会 旅費交通費
11) 支払手数料	5,000	5,616	銀行振込手数料
12) 謝金	0	0	
小 計	855,000	874,951	
4.学術			
1) 人件費 (アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	400,000	408,500	論文データ等アップデート作業代
2) 通信費・広報費	20,000	19,677	論文発送料
3) 印刷編集費	810,000	854,280	論文集No.32, 33 印刷料、コピー代
4) 会議費	100,000	117,500	学術委員会昼食代、飲食代
5) 旅費交通費	350,000	407,853	学術委員会参加交通費
7) 委託費	830,873	511,920	研究発表会論文オンライン査読システム委託費 初期導入費用：324,000+年間利用料：506,873
11) 支払手数料	5,000	7,776	銀行振込手数料
16) 運営費	0	0	
17) 雑費等	0	0	
小 計	2,515,873	2,327,506	
5.国際交流			
11) 支払手数料	10,000	432	
13) 補助等	0	0	
16) 運営費	100,000	65,032	
小 計	110,000	65,464	

科目	①予算	②決算	備 考
6.春季研究発表会			
1) 人件費(アルバイト給料)			
アルバイト給料	0	0	
2) 通信費・広報費	4,000	9,204	
3) 印刷編集費	190,000	183,708	梗概集No.42
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	380,000	369,150	現地見学会バス、投資者旅費
6) 交際費	460,000	455,652	懇親会費用
8) 消耗品費	3,000	0	賞状用紙他
11) 支払手数料	3,000	3,456	銀行振込手数料
12) 謝金	20,000	30,000	パネリスト、パフォーマー謝礼
16) 運営費	180,000	190,080	現地見学会費用(昼食代含む)
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,240,000	1,241,250	
7.秋季研究発表会			
1) 人件費(アルバイト給料)			
ア アルバイト給料	40,000	29,520	
2) 通信費・広報費	5,000	5,059	梗概集送料、賞状送付料
3) 印刷編集費	170,000	190,512	梗概集No.43
4) 会議費	0	0	
5) 旅費交通費	5,000	3,720	アルバイト交通費
6) 交際費	380,000	366,660	懇親会会場代、料理代
8) 消耗品費	3,000	2,434	賞状、賞状用筒、備品
9) 事務用品費	0	0	
11) 支払手数料	1,000	864	
12) 謝金	30,000	30,000	パフォーマー謝金
16) 運営費	400,000	423,112	昼食、飲み物代、パネル設置代
17) 雑費等	0	0	
小 計	1,034,000	1,051,881	
8.東日本大震災連続ワークショップ			
2) 通信費・広報費	5,000	4,304	
3) 印刷編集費	120,000	138,348	特別論文集No.7(CD付) 60部
5) 旅費交通費	100,000	133,668	現地見学会等バス代
6) 交際費	75,000	137,430	懇親会
11) 支払手数料	1,000	864	銀行振込手数料
12) 謝金	30,000	40,000	講師謝礼
16) 運営費	100,000	126,400	見学会、昼食代等
17) 雑費等	0	0	
小 計	431,000	581,014	
9.リスクコミュニケーション特別企画研究小委員会			
16) 運営費	10,000,000	13,123,991	
小 計	10,000,000	13,123,991	
10.その他事業			
5) 旅費交通費	200,000	136,080	研究小委員会(2つ)の旅費交通費
7) 委託費	0	23,760	
11) 支払手数料	2,000	2,160	銀行振込手数料
13) 補助等	30,000	30,000	安全工学シンポジウム共催分担金、防災学術連携体会費
16) 運営費	100,000	74,175	安全・安心若手研究会の運営費:100,000円
17) 雑費等	0	0	
小 計	332,000	266,175	
支出合計	19,825,873	22,986,026	

収入-支出	-142,873
-------	----------

なお、科目間の流用を認めます。